

高める
ウ 地域の人々がお互いに交流を広めてまちづくりをすすめる。

10. あなたの職場に人権研修推進委員会が設置されていることを知っていますか。
ア 知っている イ 知らない

11. あなたは、企業がなぜ同和問題について、研修を実施していると思いますか。

- ア 企業の生産性をあげ、利潤を高めるため
- イ 同和問題を正しく理解し、差別のない明るい職場、社会を実現するために必要だから
- ウ 職場内での差別事件をおこさないため
- エ 行政から要請があり、他の企業も実施しているから
- オ わからない

12. あなたは人権・同和問題にかかわる次の法律や事項について知っていますか。

項目	1 知っている	2 読んだことがある	3 知らない
a 日本国憲法の基本的人権の条項			
b 世界人権宣言	1	2	3
c 国際人権規約	1	2	3
d 女子差別撤廃条約	1	2	3
e 人種差別撤廃条約	1	2	3
f 「部落地名総鑑」「部落リスト」など	1	2	3
g 男女雇用機会均等法	1	2	3
h 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
i 滋賀県人権尊重の社会づくり条例	1	2	3

13. 日本にはいろいろな風習がありますが、下にあげた風習について、あなたのお考えに近いところに○印をつけてください。

	1. 当然のことと思う	2. おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方ないと思う	3. まちがっているから無くしていかなければならないと思う
ア. 結婚の相手を決めるときに、家柄とか血筋がよいとか、よくないとかという考え方			
イ. その人の性格や能力などが血液型で判断できるという考え方			
ウ. 「友引」の日にお葬式をしてはいけないという考え方			
エ. 祭り等の神事において助成という理由で参加させないことや、特定の場所に入れないという考え方			

14. 人権の尊重「同和問題」の解決について、なにかご意見・ご要望があればなんなりとお示し下さい。

※ ご協力ありがとうございました。お互いの人権が尊重・保障された職場づくりのため正しい理解を深めていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

[注] このアンケート調査例のほか、平成18年度および平成23年度に実施した「人権に関する県民意識調査」

◎次のアンケートは、研修参加者に対して研修後に行うものです。

人権研修についての調査

この調査は、参加者の理解と認識の程度を知り、今後の研修の計画に参考とするものであって、その他の目的に使用するものではありません。

記入方法は該当するものに○をつけてください。無記名でお願いします。

(1) あなたの年齢をお答えください。

1 20才未満 2 20才代 3 30才代 4 40才代 5 50才代 6 60才以上

(2) あなたは今日の教材(映画・スライド・ビデオなど)について、どう思われましたか？

1 大変よい 2 わかりやすかった 3 普通 4 少しわかりにくい 5 よくない

(3) あなたは今日の研修に参加されて、どう思われましたか？

1 よく理解できた 2 少し理解できた 3 知っていることが多くムダだった
4 もっと研修を深めたい 5 今までの考えを改めることができた 6 普通

(4) あなたは今日の研修について、どんなことを感じられましたか？

a. テーマについて 1 よかった 2 普通 3 皆の意見を聞いてほしい
b. 講話について 1 よかった 2 普通 3 あとで質問の時間がほしい
c. 運営について 1 全員参加すべきだ 2 職場毎にすべきだ 3 班別にすべきだ
d. 参加人数について 1 50名ぐらい 2 グループ20～30名 3 同時全員 4 交代で
e. 会場について 1 よかった 2 普通 3 改善すべきだ
f. 研修時期について 1 勤務時間内 2 勤務時間外 3 昼休みなど
4 午前 5 午後
g. 研修時間について 1 1時間 2 1時間半 3 2時間 4 2時間半
h. 参考資料について 1 資料があるほうがよい 2 なくてもよい 3 わからない
i. 話し合いについて 1 話し合いが必要だ 2 話し合いやすかった 3 話し合いにくかった
j. グループについて 1 いつも同じでよい 2 メンバーを変える 3 どちらでもよい

(5) あなたは今日の研修全体をどのように思っておられますか？

- 1 重要な問題なので、今後も理解と認識を深めるため研修をすべきだ
- 2 特に問題がないのでやめたらどうか
- 3 社内の人権研修推進委員の事前の打ち合わせを綿密にして時間のムダをなくすべきだ
- 4 みんなの意見が出せるよう、研修資料を配るか、社内報などで予告すべきだ
- 5 今日はよい研修ができた。少しわかってきて関心をもつようになった
- 6 むつかしいのでなかなかわからない、いつまで研修をしなければならぬのか

(6) 今後の社内研修の効果をあげるための方法についてどうお考えですか？

- 1 研修の回数を 月1回 隔月1回 年4回 年2回 年1回
- 2 話を聞くだけでなく、話し合いによって研修が深まる
- 3 全員集合研修と班(グループ)での話し合い研修とを交互にする
- 4 地域や他の企業(取引関係・同業種の従業員など)との交流
- 5 地域センターでの交流や現地研修など差別の実態に学ぶ
- 6 社内研修のために掲示板や関係の新聞・パンフレット・図書などを設置する
- 7 社内放送や社内新聞に取りあげて日常活動での啓発をする
- 8 サークル活動や職場の会議のとき常時話題として取りあげる
- 9 研修時間を勤務時間内にとる 勤務時間30分と時間外30分のように折半とする

(7) 今後、学習、研修したいことは何ですか。ご自由にお書きください。